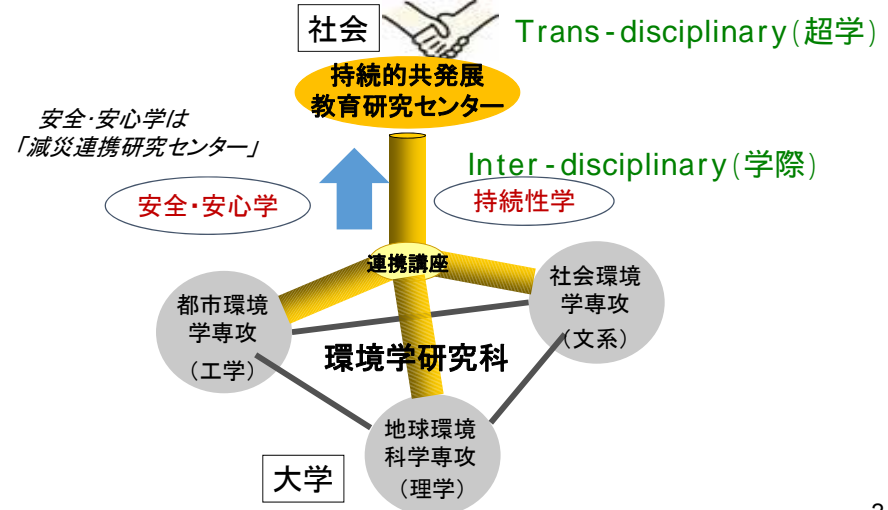




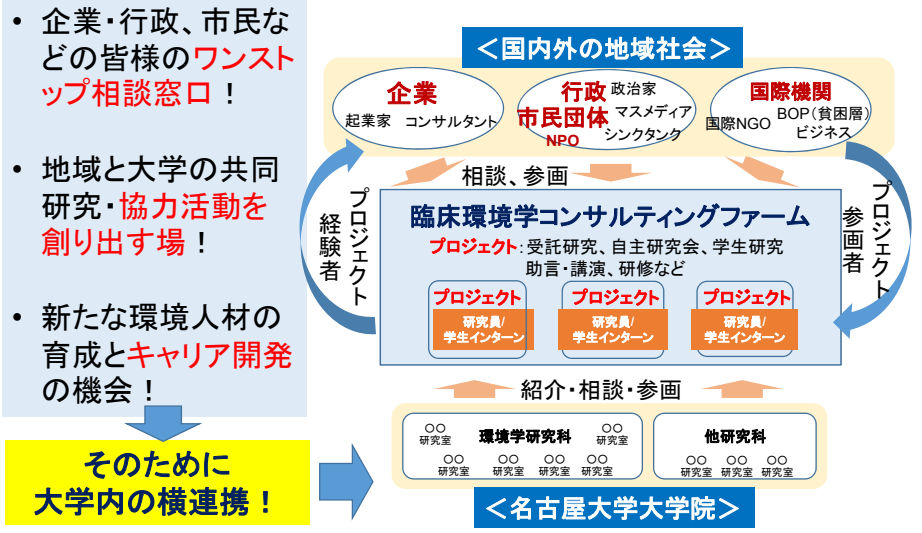
「科」の「学」だけでは環境問題に対応できない！  
 Miscellany of detailed academic disciplines  
 cannot solve environmental issues.

- 環境問題 = 自分たちの周辺の問題(の総合)  
 The environment is a series of problems around ourselves.  
 ✓ 様々な事象が分野横断で複雑に結びついている  
 ✓ 実験室と違って都合のよい仮定は設定できない
- 細分化された個別学問分野では視野が狭すぎる  
 Detailed discipline's perspective is narrow.  
 ✓ 固有の視点から鋭利な分析を提供できる場合も  
 ✓ しかし的外れな視点になることも。分野間相反も
- 大学に閉じこもってはいはそれを実感できない  
 We cannot feel inside university.  
 ✓ その方が論文は書けても、社会と乖離

持続的共発展教育研究センターの位置づけ  
 -トライアングルからテトラポットへ-  
 Positioning of "Education and Research Center for Sustainable Co-Development" (SusCoDe)



臨床環境学コンサルティングファーム  
 -社会と大学研究者との「お見合い」の場-  
 Consulting Firm for Clinical Environmental Studies



## 6 研究科連携ESDプログラム

Education for Sustainable Development Program  
by 6 Graduate Schools

FY 2018  
Nagoya University

# ESD

Program

Nagoya University  
Education for Sustainable Development  
Consortium Program with 6 Graduate Schools

<http://www.nuesd.env.nagoya-u.ac.jp/>

環境学 GSES  
国際開発 GSID  
生命農学 GSBS  
工学 ENGG  
経済学 SOEC  
人文学 GSH

Education for Sustainable Development Program  
by 6 Graduate Schools

持続可能な発展・研究に関する  
6研究科約60の講義について

他研究科のものも受講でき、  
単位を取得することができます。

名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター 2018/05/26

4

環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター (環境センター)

## 環境学研究科 研究科内研究インターンシップ 参加学生募集!

環境学研究科では工学系のみならず研究分野が多様な研究プロジェクトを行っています。  
他研究室・他専攻の研究プロジェクトへ体験できるのがこのインターンシップです。

1つの分野を極めたいという時代ではありません。異分野の習得に力を入れることは現在のキャリアに必ず立ちます。  
研究科内の20名あまりの教員が、自分の研究プロジェクトへの参加者を募集しています。指導教員の承認を得た上で、他研究室での研究活動を行います。30時間の授業で共同センター長名の指導監督も発行します。90時間の授業で「インターンシップ」単位として認められます。ふるってご参加ください。

研究テーマの例 (他にもあります) <http://ercscd.env.nagoya-u.ac.jp>

- 地球の変動 / 気候変動が環境や社会に与える影響
- 農業生産 / 持続可能な農業の発展
- 河川の生態 / 河川生態系が環境に与える影響
- 森林の生態 / 森林生態系が環境に与える影響
- 木材利用 / 持続可能な木材利用の発展
- 都市計画 / 持続可能な都市計画の発展
- 公共交通 / 持続可能な公共交通の発展
- 建築環境 / 持続可能な建築環境の発展

名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター 2018/05/26

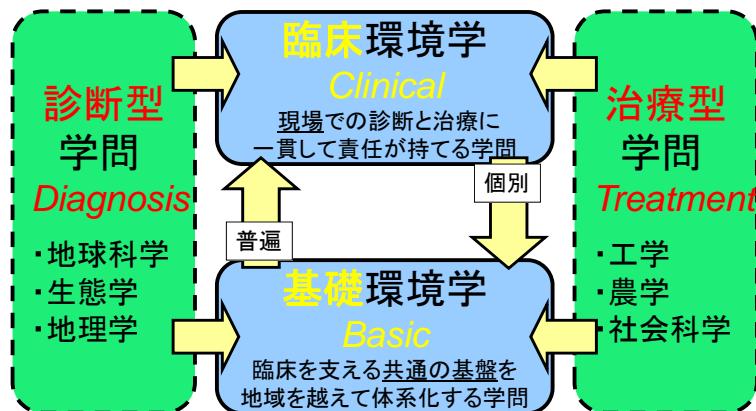
研究科内研究  
インターンシップ  
Research internship  
within our graduate school

- 様々な分野の研究室がある環境学研究科の他研究室の研究プロジェクトに一時参加することができる
- 所定の時間従事すれば、履修証明書や単位が得られる
- 主指導教員の許可が必要

<http://ercscd.env.nagoya-u.ac.jp/jpn/post.html>  
「環境学研究科 インターン」  
で検索

5

## 臨床環境学®と基礎環境学 Clinical & Basic Environmental Studies



「臨床環境学®」は、名古屋大学の登録商標です。

6

## 「俯瞰力」と「現場力」 Skill for "Overlooking" & "Acting real fields?"

- 基礎・『俯瞰力』: Think globally
  - 様々な立場や価値観があることを理解し、旺盛な好奇心を持てる力
  - 幅広い視野を持って状況を把握できる力
- 臨床・『現場力』: Act locally
  - どこに放り出されても対応できる分析力とコミュニケーション力
  - 状況を把握し伝える力(診断)
  - 調査や意見交換を通じて適切な処置を提案し実施できる力(処方・治療)

7

## ORTの流れ・・・「俯瞰力」「現場力」をつける！

Flow of ORT to improve the skill for  
“Overlooking” & “Acting real fields.”

1.事前検討<大学>  
Pre-discussion (univ.)

異分野・多国籍  
メンバーで検討

2.全員調査<現地>  
Research by all members



4.発表<現地>  
Presentation in the field



「診断」「処方」を示す  
Diagnosis & Prescription

3.個別調査<現地>  
Research by each group

- ・チーム・テーマを決定
- ・現場で調査・分析を企画・実施

「目からウロコ」 See the light!

名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター 2018/05/26

8

## 基礎・臨床環境学に関する授業：前期課程

Master course program of  
Basic and Clinical Environmental Studies  
(ALL: Japanese and English)

•On-site Research Training (ORT): 持続可能な地域づくり実践  
セミナー (Practical Seminar on Developing Sustainable Local  
Communities, 4 credits)

- ・「大学の国際展開力」プログラムの一環として、ラオス国立大学社会科学部と連携した学生交換プログラム
- ・日本国内は東白川村、ラオスはサントン郡をフィールドに
- ・国内スタディツアー（2泊3日）＋ ラオススタディツアー（9泊10日程度）



名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター 2018/05/26

9

## 基礎・臨床環境学に関する授業：後期課程

Doctor course program of  
Basic and Clinical Environmental Studies  
(ALL: Japanese and English)

統合環境学特別コース *Integrated Environmental Studies Course*

- On-site Research Training (ORT): 臨床環境学研修1・2 (2 credits)
- On-campus Seminar: 基礎環境学講究1・2 (2 credits)

臨床環境学研修1・基礎環境学講究1の単位を修得すると、特別コース修了証(certificate)が得られる

これらの授業は博士(環境学)の単位取得要件<他専攻科目の単位取得が必要>に使える

RA募集あり



名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター 2018/05/26

11

博士後期課程の皆さんへ

統合環境学  
特別コースで  
学んでみませんか?



統合環境学特別コース *Integrated Environmental Studies Course*:

- ◎博士後期課程向け。どの専攻に所属していても参加可能
- ◎異分野の学生・教員とともに、環境問題について多角的に考えることができる
- ◎持続的共発展教育研究センターが提供

名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター 2018/05/26

10

2017・2018年度のフィールド:  
**白川町・東白川村(岐阜県)**  
 ORT Field in FY2017&2018: Shirakawa-  
 cho, Higashishirakawa-mura (Gifu pref.)



*Let us begin the journey of  
 clinical environmental studies!*



## ORTの日程(2018年度) Schedule

月	行事	内容
4/26(木)	立ち上げ会合	概要説明、グループ分け
5月	準備会合	各個人の興味に応じた対象地域に関する発表
5月	定例打合せ	現地見学会の準備
5/31(木) ~6/2(土)	現地見学会 (スタディツアー)	2泊3日で現地を訪問し調査・ヒアリング
6~11月	個別調査・分析	各グループで個別に実施
	定例打合せ	各グループの進捗状況確認
9月	学内中間発表会	データ収集状況や成果・知見について発表
11月	学内最終発表会	研究結果について発表
12月	現地研究報告会	地域の皆様に研究成果を見ていただくとともに議論し、今後の調査研究へつなげる
1~3月	最終報告書作成	報告書として形に残し、地域にも手渡す

## 臨床環境学(ORT)参加で何が得られるか?

What do you get by joining ORT?  
*exiting! interesting! and cool!*

- コミュニケーションが得意になる(対人、対自然)
- 異分野・一般社会での知り合いが増える
- 視野が広がる
- 日本のことがわかる

### すなわち「俯瞰力」と「現場力」

「ただの博士・修士」は上記のスキルは不要  
 「何か新しいことをやらかす博士・修士」になる  
 「専門の研究者」以外のキャリアパスを拓く  
 究極の狙いどころは「起業家」「政治家」の輩出  
 つまり、世の中をいい方向に変える人!

